

1991年度日本気象学会奨励金受領候補者の募集

1970年より、日本気象学会は、研究費・研究環境に恵まれない会員の研究を奨励するために、「日本気象学会奨励会」制度を設けました。現在、毎年3件、総額21万円を贈与しています。3件のうち1件については小・中・高校の地学教育に従事されている先生で、特に実践的な気象教育の研究をおしすすめられている個人またはグループを対象として贈与し、気象教育の振興を図る一助にしています。

過去の受領者は別掲のとおりです。

本年度の奨励金の受領を希望する会員、あるいは、他の会員を受領者に推薦しようとする方は、申請についての要綱に基づき、下記の形式で応募あるいは推薦を下さい。

1991年5月

日本気象学会理事長

記

締切：1991年7月19日（金）必着

送付先：〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁内日本気象学会事務局気付
奨励金選考委員会

用紙：B5版 横書き

記入要領

1. 受領者氏名（ふりがな付）、印、生年月日、勤務先、職名および連絡先（郵便番号、郵便宛名）
2. 研究項目
3. 研究経過と今後の研究計画（あわせて400字詰原稿用紙4枚以内）
印刷報告、学会発表のあるものは、題目、雑誌名、巻号頁数、あるいは、題目、学会名、年月を記入し、また、別刷、図表、写真等の参考資料があれば添付する。資料は原則として返却しない。
4. 受領候補者略歴
5. 推薦の場合は、推薦者氏名、印、勤務先及び職名、連絡先（郵便番号、郵便宛名および電話番号）、および推薦理由（400字詰原稿用紙4枚以内）。
この場合は候補者の印は不要。

注）共同研究の場合は、1件として候補者を連名で記すこと。

奨励金申請についての要綱

1. 気象学、気象技術、および気象教育の進歩に貢献しうる将来性、発展性のある研究はすべて本奨励

1991年5月

金の対象となる。完成度の高い研究であることは必要条件ではない。

2. 大学あるいは研究機関に勤務し、経常あるいは特別研究費の配分を受けて気象学の研究に従事する会員は、原則として、対象から除外される。また、応募あるいは推薦研究題目について他機関から既に研究助成金を受けているものについても、原則として対象から除外される。
3. 受領者の選定は、奨励金受領者選定規定に従って、理事長の委嘱する5名の選考委員によって行われる。今年度の贈呈は、10月23—25日、名古屋で開催される秋季大会において行う。
4. 受領者は、奨励金受領後1カ年以内に簡潔な研究報告を理事長に提出する。

1990年までの受領者はつぎのとおりです。

番号	年度	受領者
1	1970	長野美文
2	1970	久保田効
3	1971	山川弘
4	1971	竹内丑雄
5	1972	杉山清春
5	1972	竹内新
6	1972	地迫良一
7	1972	深津林
7	1972	清水喜允
8	1973	加藤一靖
9	1973	小岩清水
10	1973	村松照男
11	1974	矢野兼三
12	1974	内山文夫
13	1974	櫃間道夫
14	1975	岸田和博
15	1975	鈴木和史
16	1976	山田幹夫
17	1976	力武恒雄
18	1976	松村三佐男
19	1977	小形明
20	1977	宮川和夫
20	1977	永沢義嗣
21	1977	佐々木芳春

番号	年度	受領者	番号	年度	受領者
22	1978	島村 泰正	40	1984	加藤 敏彦
23	1978	伊豆味 正吉	41	1984	柴山 元彦
23	1978	春日 信	42	1985	中田 隆一
24	1978	浦野 弘	43	1985	水野 量
25	1979	木村 悠	44	1985	名越 利幸
26	1979	坂上 公平	45	1986	大奈 健
27	1979	小柴 厚	46	1986	江上 公
28	1980	山中 博	47	1986	半田 孝
29	1980	若原 勝二	48	1986	瀧島 幸市
30	1980	中井 公太	49	1987	入田 央博
30	1980	横山 博	50	1987	三品 博
31	1981	細野 正俊	51	1987	神原 保志
32	1981	西本 洋相	52	1988	大野木 和敏
33	1982	西田 耕造	53	1988	銘 苅 眞正
34	1982	山内 博行	53	1988	金城 勝重
35	1982	原嶋 宏昌	54	1988	橋本 雅巳
36	1983	田頭 正広	55	1989	松本 崇司
37	1983	渡部 浩章	56	1989	松田 耕治
38	1983	鈴木 欣也	56	1989	塩澤 定道
38	1983	丹 英二	56	1989	有賀 孝平
38	1983	長島 真	57	1989	西銘 宜正
39	1984	平 隆介	58	1990	横田 寛伸
			59	1990	松村 哲

日本気象学会夏期特別セミナー（第二回夏の学校）開催のお知らせ

講演企画委員会

「天気」2月号にて報告がありましたように、昨年8月に気象学会若手有志の手により「第一回夏の学校」が行なわれました。主として若手研究者間の研究に関する議論・情報交換の場として、また、親睦・交流の場として非常に実りあるものとなりました。今年は第二回夏の学校実行委員会と気象学会講演企画委員会との合同開催により下記のように行ないます。招待講演も含め、有志数人による話題提供に基づいての様々なテーマに関する討論を中心に行なう予定です。興味のある方は下記連絡先までお早めにご連絡ください。詳しい案内をお送りします。

記

期 日：1991年7月19日（金）午後から

21日（日）午前まで

場 所：京都府立ゼミナールハウス
京都府北桑田郡京北町
（JR京都駅から北へバスで約1時間30分）

招待講演：廣田 勇（京都大学理学部教授）

『運と勘』

—気象学における発見的研究の舞台裏—

連絡先：〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部地球物理学教室気象学研究室
気付

第二回夏の学校実行委員会

（代表 菅田誠治）

Tel. 075-753-3936 Fax. 075-721-9249